

瀋陽市概要～最近の日系企業進出状況～

岡山県大連ビジネスサポートデスク 岡野涼子

本年10月、瀋陽市に初の日系銀行支店の開設式典が開催されました。瀋陽市の中心ターミナル瀋陽北駅そばの財務中心E座(駅前オフィスビル群の一棟)に、三井住友銀行瀋陽支店が設立され、片山修二支店長が就任し、現在、多数のプロジェクトに対応されています。これまで、日系企業の東北の主な活動拠点は大連であり、実際にみずほコーポレート銀行、三菱東京UFJ銀行、山口銀行は大連に支店をかまえ、三井住友銀行も事務所を設立しています。主要銀行である三井住友銀行が瀋陽市に進出したのは、日系企業の中国東北部への投資を考える上で、一つの指標となるでしょう。昔から大連市と同様に、或いはそれ以上に日本とゆかりの深い瀋陽市について、現在の概要をご報告します。

瀋陽市概要

瀋陽市人口 約 786 万人 面積 1.3 億平方キロメートル

行政区画 1 市 9 区 3 県(瀋河区、和平区、大東区、皇姑区、鉄西区、蘇家屯区、東陵区、瀋北新区、于洪区、新民市、遼中県、康平県、法庫県)…鉄西区には現在、鉄西新区と呼ばれ始めた開発地域を含む。

GDP 5,015 億元(前年比 14%増) ※大連は 5,150 億元(同 15.2%増)

固定資産投資額 5,007 億元(同 36.2%増) ※大連は 5,008 億元(同 53.0%増)

社会消費物資小売総額 2,062. 5 億元(同 18.3%増) ※大連は 1,630 億元(同 17. 8%増)

都市住民可処分所得 20,540 元(同 11.2%増) ※大連は 21,300 元(同 12.0%増)

開発区

瀋陽市内には国家レベルの開発区が5か所、省レベルの開発区が12か所あります。うち、日系企業が集中しているのは、瀋陽経済技術開発区です。東汽、南高、西重、北農と現地では言われており、東が自動車産業(+観光)、南がハイテク(ハイテクパークを有する渾南新区、将来的に瀋陽市の行政機能も移転開始)、西が重工業(設備機械、十個化学工業)、北が農業(瀋北新区、農業・食品加工)、を軸とした開発方針を定めています。

3、近年進出した日系企業

三井住友銀行、INAX(現、リクシル)、ヤマダ電機、丸紅、東横イン、積水ハウス、新日本建設、安川電機、鹿島建設、伊勢丹、ユニクロ、ヤクルト、無印良品、NTTデータなどが進出しています。

4、近年のトピックス

瀋陽経済技術開発区政策が国家政策として批准されました。これは瀋陽市を中心として鞍山市、撫順市、本溪市、営口市、阜新市、遼陽市、鉄嶺市の八都市を対象として経済圏を構築するというもので、総人口が約2,400万人と言われています。この八都市は半径150キロ圏内に位置し、車社会となってきた中国では、高速道路さえ利用できれば1～2時間で移動できる距離です。